

愛知登文会ニュース 第41号

令和8年1月10日号

■ 「あいちのたてもの博覧会 2025（あいたて博 2025）」報告

12回目の開催となったあいたて博 2025は、新たに20の建物に参加いただき、プレミアム企画、一斉公開をあわせて、90企画、106建物で開催。参加者は約2,100名、うちツアーや建物解説には1,460名の方に参加いただくことができました。今年はじめて参加したという方が58%。毎年、半数以上の方がはじめて参加されており、若い方の参加が増えた印象があります。沖縄など遠方からの来訪者もあり、「他の建築祭と違って程よい距離で参加できるのが一番の魅力」と評価いただいています。

公開対象拡大後3年目となり、事務局やボランティアスタッフの数も増え、熱心な参加者の皆さまのおかげで充実した取組となったと感じています。ご参加いただいた皆さまありがとうございました。



◆クロージングトーク

最終日に川原田家住宅においてあいたて博をふりかえるトークイベントをライブ中継。YouTubeで視聴可能です。



クロージング
トーク



あいたて博
WEB サイト

【プレミアム企画】

◆10月4日(土)～11月30日(日) -20日間21企画

応募倍率が4倍を超えた昭和塾堂など定番企画とともに新たに6企画を実施。古民家ホテル宿-shuku-はあいたて博で公開していた小島家住宅「残月の間」がホテル併設のレストランとして再生され、食事付ツアーを開催。参加者からは「食事つきで、ゆったりとすごせ、建築の見学会らしくないところが逆に良かったです」との感想が寄せられました。そのほか、伊東合資では「ご当主の幼少期のお話や室内の創りなど建物愛を感じる解説がわかりやすくとても良かった」「ペアリングランチは素材を生かしていてとても美味しく頂きました」、愛知県立芸術大学では「愛に満ちた解説付きで、普段見る機会のない素晴らしい建物群を堪能できた」といった感想が寄せられました。



食事風景（古民家ホテル宿-shuku-・新企画）



食事風景（伊東合資・新企画）



専門家による解説（県立芸術大学・新企画）



専門家による解説（県陶磁美術館・新企画）



専門家による解説（太洋ビル・新企画）

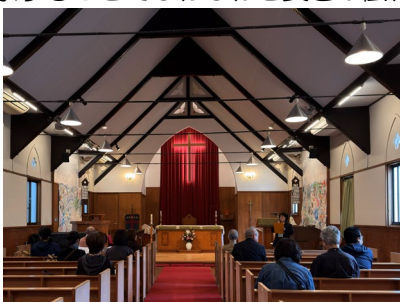


栗きんとんづくり体験（蓮教寺・新企画）

【一斉公開】

◆名古屋エリア-11月1日(土)・11月15日(土)・11月30日(日)-

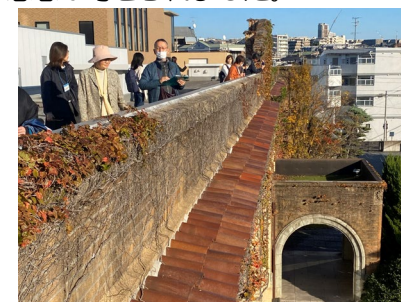
初参加2件を含む23件の建物を公開。開催日を3日間としたことで参加いただける箇所が増えたのではないのでしょうか。名古屋陶磁器会館の参加者からは「素敵だなと思っていたパンフレットの表紙イラストを描かれたご本人にガイドしていただける貴重な機会に参加出来て嬉しいです」、古川記念館では「何度も訪れたことのある博物館だが、こんなにも魅力的とは気づかなかった。洪い建物なので、じっくり観察することでじわじわと良さが伝わってくる建物であると感じた」との感想が寄せられました。



専門家による解説（聖マルコ教会・初参加）



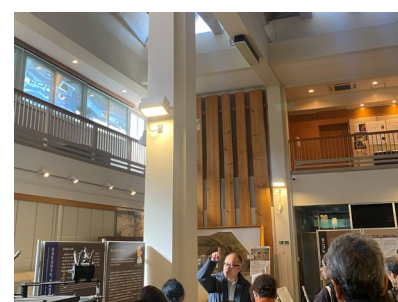
専門家による解説（山中医院・初参加）



屋上も公開（愛知学院大学・8年ぶり）



専門家による解説（名古屋陶磁器会館）



専門家による解説（古川記念館）



重要文化財となった御霊屋（建中寺）

◆西尾張エリアー11月2日(日)ー

5件の建物を公開。墨会館の参加者からは「ガイドの方の熱量がすばらしかった、建物に関する知識も幅広く非常に勉強になった」、真清田神社では「専門家の方と権禰宜さんの両方の説明がきけてよかったです」「特別な所も入らせていただうれしかったです」との感想が寄せられました。



ボランティアによる案内(墨会館)



本殿の近くまで(真清田神社)



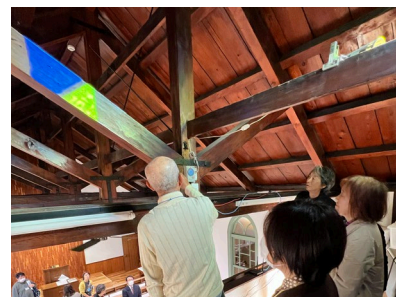
屋上も公開(甘強味淋西洋館)

◆東尾張エリアー11月2日(日)・11月16日(日)ー

5件の建物を公開。永泉教会の参加者からは「改修を担当した建築家の熱意ある説明が大変よかった」「従来の建物を生かした建築方法を実際の場所で説明していただき理解しやすかった」との感想が寄せられました。



居住する学生からの話も(松千代館)



専門家による解説(瀬戸永泉教会)

◆北尾張エリアー11月2日(日)・11月22日(土)ー

7件の建物を公開。尾関家住宅の参加者からは「建物を守られてきた気持ちや歴史が伝わりました」「ボランティアの方に声をかけていただき、急遽参加。その方の建築のお話に興味を持ち、楽しく見学させていただきました」との感想が寄せられました。



所有者による案内(尾関家住宅)



専門家による解説(川田家住宅)



所有者による案内(旧小守家住宅)

◆知多エリアー11月9日(日)ー

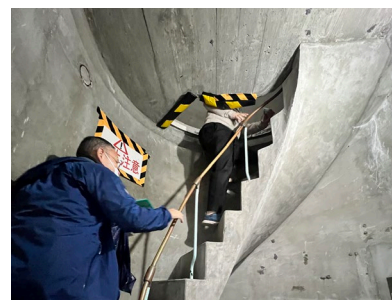
初参加 1件を含む14件の建物を公開。雨天の中での開催となりましたが、とこなめ陶の森陶芸研究所では「建物だけでなく、先生の解説も本を読んでいるような満足感があって楽しかった」との感想も寄せられました。



解説の様子(七中記念館・初参加)



専門家による解説(とこなめ陶芸研究所)



灯台に登る(野間崎灯台)

◆西三河エリアー11月8日（土）ー

初参加4件を含む15件の建物を公開。初参加となった本證寺の参加者からは「解説の方がとても寺社建築に詳しくて、勉強になりました」、比樂邸では「解説が住宅建築の見所を細かく教えて頂きわかりやすく面白かった」「建物や庭、細部まで施された工夫を見て当時の職人のすごさにも感動しました」との感想も寄せられました。



専門家による解説（本證寺・初参加）



専門家による解説（比樂邸・初参加）



自由見学の様子（山中従天医館・初参加）

◆東三河エリアー11月29日（土）ー

初参加3件を含む10件の建物を公開。初参加となった3件は愛知大学記念館とあわせて4つの建物を巡るツアーとして開催。「普段見られない建物に入れたし、先生のお話がとてもおもしろく、興味深かった」「今回のコースはとてもよかったので、次回以降も継続をお願いしたい」との感想も寄せられました。



内部を見学（愛知大学大講堂・初参加）



数年ぶりの公開（愛知大学公館・初参加）



専門家による解説（トヨテック本社社屋）

【コラボ企画】

8企画を位置づけ。稲沢まつりの日に毎年一般公開されている中高記念館では、あいたて博コラボとしてガイドツアーを実施。装飾をひもとく展では村瀬実行委員長が登壇するトークイベントも開催されました。



ガイドツアーを実施した中高記念館



装飾をひもとく展 展示風景（金城市場）

編集後記

今号は特集号として、登文会の取組から発展し協力事業として位置づけられるあいたて博を取りあげ、報告してもらいました。限られた紙面ではその一部の紹介に留まっていますが、参加者の感想から、あいたて博を楽しんでいる様子が窺えるのではないかと思います。

今年度より役員会体制が替わるとともに、文化庁事業は、3つの事業（①登録文化財保存活用シンポジウム、②ウィキペディア愛知登文会、③新規登録文化財訪問）に絞ることになりました。愛知登文会ニュースの発行は年2回とし、紙の発行は取りやめます。次号は4月発行予定です。

愛知登文会ニュース 第41号

発行日：令和8年1月10日

発行者：愛知県国登録有形文化財建造物所有者の会

【事務局：川原田家住宅内（名古屋市昭和区）】

E-mail contact@aichi-tobunkai.org

WEB サイト https://www.aichi-tobunkai.org/

Facebook @aichi.tobunkai

X @aichitobunkai

Instagram aichitobunkai



LINE
（自動応答）